

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和7年・9月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

振り返る力は生きる力！

校長 福江 大幸

子どもたちの声が戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、1年間で最も長い2学期は、秋の季節が中心となります。「実りの秋」という言葉のように、子どもたちにとって「実りの秋」にしていきたいと考えます。引き続き、「表現力」と「積極性」の育成をキーワードに取組を進めていきます。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

2学期を迎えて子どもたちは、1学期の振り返りをもとに、今学期の目標を決めているところです。生活場面でも学習場面でも、学校は自分の目標やめあてを決めて取り組むことを大切にしています。目標とは、自分ができるようになりたいこと、なりたいたい自分を想定することです。そんな未来の姿を見据えて、具体的に何をするか、何を頑張るかを設定する事が大事です。

「忘れ物をなくす」「算数を頑張る」ではなく、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備する」「算数を頑張るために、毎日復習する時間をつくる」というように、具体的な行動にしていきます。取り組むべきことがはっきりしていれば、振り返りも容易です。「帰ったらすぐに準備すると決めたけど、できない日もあった」「毎日復習したから算数が好きになってきた」のように行動を振り返り、新たな気持ちで前を向いて進むことができます。時には、実現のための方法を変更し、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備して、朝もう一度確かめる」と修正することにより、自分自身に近づいていきます。



学校は授業のなかでも「振り返り」を大切にしています。4年生の国語「ごんぎつね」のラストシーンに兵十のこんな言葉があります。「ごん、おまい（おまえ）だったのか、いつも、くりをくれたのは」この場面を学習した後、こんな振り返りがありました（私の担任時代）。「兵十は、この言葉を大きな声で言ったと思っていたけど、〇〇さんが発表したように、小さな声で言ったかもしれない。そのほうが、兵十の気持ちに合っていると思った。」仲間の考えを知ることで、子どもたちは自分を振り返り、考えを広げたり深めたりしていきます。これが、仲間と共に学び合うことの意味であり、一人では達成できないことです。

「反省」はうまくいかなかった原因を探って改善していくことですが、「振り返り」は、うまくいったことも含めて自分の考えや行動を見つめ直し、そこで得た新たな気づきを次に活かしていくことです。自分の思考過程を想起し、仲間との関わりによって自分がどう変わり、どんな気づきがあったかを明らかにして言葉にすることで、考える力は生きる力へと昇華していきます。

2学期も、我々教職員はこの「振り返り」の充実を中心に、授業改善に努めていきます。



和木小コムスクひろば



7月16日（水）、6年生全員と約30名の大人で「挨拶についての熟議」を実施しました。熱心な協議により、子どもたちにとっては、大人の思いを聞き、挨拶について考え直すこと。大人にとっては、子どもたちの思いを聞き、家庭や地域での子どもたちへの声かけ等について考え直すこととなりました。

